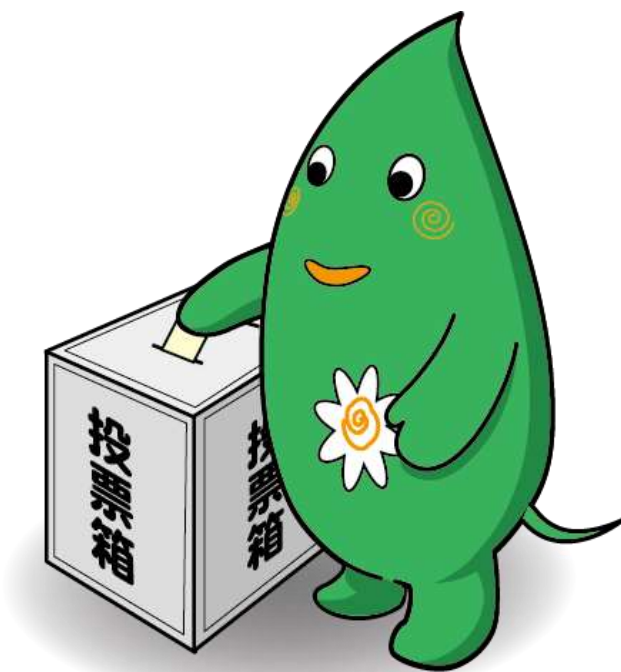


令和4年度

# 政治と選挙の意識調査



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

大和市明るい選挙推進協議会  
大和市選挙管理委員会

## ◆◆ はじめに ◆◆

大和市の有権者の皆さんは、政治や選挙について日ごろどのような意見や考えをお持ちなのでしょう。

大和市では、選挙啓発活動をより効果的なものとするため、毎年度、市内にお住まいの有権者を対象とした意識調査を実施しています。

令和4年は、7月10日に参議院議員通常選挙が執行されました。今回の選挙も、コロナ禍における選挙となることから、引き続き、投票所及び開票所内でのアルコール消毒や換気等の感染症対策に努めました。

また、選挙事務では、マイナンバーカードを利用してパソコンやスマートフォンから不在者投票用紙の請求をオンライン申請で行える「ぴったりサービス」を導入したほか、投票所入場整理券を4名連記方式から個人別に変更してサイズを拡大し、期日前投票で使用する「宣誓書兼請求書」と一体化しました。

近年増加傾向にある期日前投票者数は前回の参議院議員通常選挙の1.18倍で過去最高となりました。投票率全体においても、神奈川県選出議員選挙では、前回は6.54ポイント上回る52.17%という結果になりました。

この結果を受け、今回の調査は、投票の有無やその理由など具体的な質問を設けて、市内在住の1,000人の有権者を対象として実施いたしました。

調査結果は、私どもが今後の啓発活動を効果的に行っていくための貴重な資料として役立たせていただきます。また、この調査を通して有権者の皆さんが政治や選挙への興味と関心をさらに高めていただくきっかけや参考となれば幸いに存じます。

最後に、この調査の実施に際し、多くの有権者の皆さんにご協力いただきましたことを深く感謝いたします。

令和5年8月

大和市明るい選挙推進協議会  
大和市選挙管理委員会

# 目 次

1	調査の概要	1
2	回答者の構成	2
3	調査結果	4
	（1）生活・政治に関する意識	4
	問 1 生活の満足度	4
	問 2 国政への満足度	5
	問 3 国政への関心度	6
	問 4 支持する政党の有無	7
	（2）選挙時の投票行動に関する意識	8
	問 5 投票の有無	8
	問 5 の 1 投票に行った理由	9
	問 5 の 2 投票の際役に立った媒体	10
	問 5 の 3 投票へ行かなかった理由	11
	問 6 投票率向上の対策	12
	問 7 期日前投票制度の認知度	14
	（3）外国人の参政権に対する意識	15
	問 8 選挙権に対する意識	15
	問 9 被選挙権に対する意識	16
	（4）国民投票制度に対する意識	17
	問 10 国民投票制度の認知度	17
	（5）意見・感想の集計	18
4	調査票	19
5	資料	21
	（1）衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移（大和市）	21
	（2）参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移（大和市）	21
	（3）神奈川県知事選挙投票率の推移（大和市）	22
	（4）神奈川県議会議員選挙投票率の推移（大和市）	22
	（5）大和市長選挙投票率の推移	23
	（6）大和市議会議員選挙投票率の推移	23

# 1 調査の概要

## 1 調査の目的

選挙において投票する際には、普段から政治について知識と関心を持ち、さらに「投票」という有権者としての意思表示に参加する意欲を持つことが必要です。この参加意欲の向上を図るために、選挙啓発活動は重要な役割を担っています。

有権者の政治や選挙に対する意識は、年代や性別などによりさまざまですが、その違いを的確に把握することで、より効果的な選挙啓発活動を行うことが可能となります。

今回の調査は、有権者の生活や政治に関する意識のほか、選挙時の投票行動について調査したものであり、今後の選挙啓発活動に役立てるための資料とするものです。

## 2 調査の方法

- (1) 調査対象者：市内に居住する満18歳以上の男女
- (2) 調査対象者数：1,000人（男性505人 女性495人）
  - ① 20歳以上の有権者から800人（男性402人 女性398人）
  - ② 19歳の有権者から100人（男性52人 女性48人）
  - ③ 18歳の有権者から100人（男性51人 女性49人）
- (3) 抽出方法：選挙人名簿から無作為に抽出
- (4) 調査方法：郵便調査法（回答も郵便による）

## 3 調査した事項（19・20ページ調査票参照）

- (1) 生活・政治に関する意識
- (2) 選挙時の投票行動に関する意識
- (3) 外国人の参政権に関する意識
- (4) 国民投票制度に対する意識 ほか

## 4 調査の実施時期

令和4年11月11日発送（令和4年12月2日締切）

## 5 調査票の回収数・回収率

354枚・35.4%

## 6 調査結果の集計

大和市選挙管理委員会のPCにより集計

※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

## 7 調査結果の分析

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

## 8 調査の実施主体

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

## 2 回答者の構成

### 《年代別》

	年代	回答者 (人)	比率 (%)
1	18～19歳	33	9.3
2	20～24歳	18	5.1
3	25～29歳	10	2.8
4	30～39歳	34	9.6
5	40～49歳	47	13.3
6	50～59歳	50	14.1
7	60～69歳	53	15.0
8	70～79歳	65	18.4
9	80歳以上	41	11.6
	無回答	3	0.8
	計	354	100.0

### 《男女別》

	性別	回答者 (人)	比率 (%)
1	男	139	39.3
2	女	179	50.5
	無回答	36	10.2
	計	354	100.0

### 《職業別》

	年代	回答者 (人)	比率 (%)
1	農・林・漁業	0	0.0
2	商・工業	6	1.7
3	自由業	2	0.6
4	建設業	10	2.8
5	管理職	29	8.2
6	事務職	31	8.8
7	専門技術職	34	9.6
8	現業職・販売職	57	16.1
9	主婦・主夫(専業)	86	24.3
10	学生	44	12.4
11	その他の無職	54	15.2
	無回答	1	0.3
	計	354	100.0

《 地区別 》

	居 住 地 区	回答者 (人)	比 率 (%)
1	下鶴間・つきみ野	61	17.2
2	中央林間・中央林間西	38	10.7
3	南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1、2、6～8丁目)	63	17.8
4	鶴間(1丁目)・西鶴間(3～5丁目)	18	5.1
5	上草柳・桜森	23	6.5
6	深見、深見西、深見東、深見台、大和東、大和南	43	12.2
7	中央・草柳(1、2丁目)、下草柳	19	5.4
8	草柳(3丁目)・柳橋・福田(1～8丁目)	21	5.9
9	上和田(上和田団地を除く)	9	2.5
10	上和田団地・下和田・いちょう団地	7	2.0
11	福田(地番)・渋谷・代官	47	13.3
	無回答	5	1.4
	計	354	100.0

《 居住年数 》

	現住所の 居住年数	回答者 (人)	比率 (%)
1	1年未満	8	2.3
2	1～5年未満	43	12.1
3	5～10年未満	34	9.6
4	10～20年未満	90	25.4
5	20～30年未満	60	16.9
6	30年以上	110	31.1
7	わからない	1	0.3
	無回答	8	2.3
	計	354	100.0

《 投票所までの所要時間 》

	投票所までの 所要時間	回答者 (人)	比 率 (%)
1	5分未満	76	21.5
2	10分未満	132	37.3
3	20分未満	68	19.2
4	20分以上	12	3.4
5	わからない	8	2.2
	無回答	58	16.4
	計	354	100.0

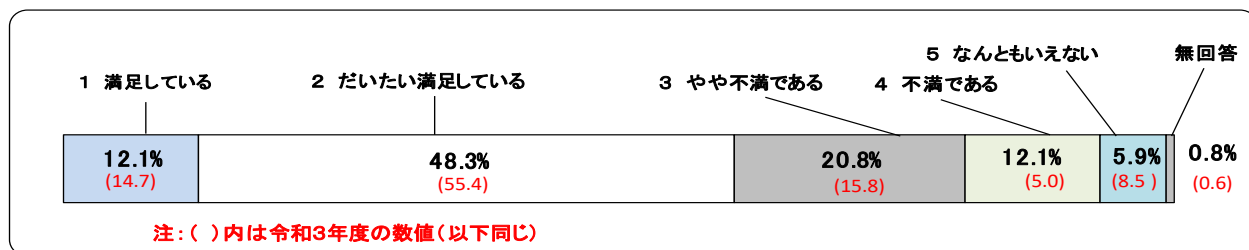
※「徒歩」による移動を想定

# 3 調査結果

## (1) 生活・政治に関する意識

## 生活の満足度

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。



調査の結果を生活満足層（1と2を回答した人）と、生活不満足層（3と4を回答した人）とに分けて、最近12年間の推移を示したものが図1です

前年と比較して、満足層は9.7ポイント減少して60.4%、また、不満足層は12.1ポイント増加して32.9%でした。

最近13年間では、平成23年以降、満足層が50%を超えて増加傾向を示し、前回の調査まで70%を超え、不満足層は、平成22年の40.9%の約半分まで減少していましたが、再び満足層が低下し、不満足層が増加しました。

また、男女別では、満足層は男性59.8%、女性62.0%で、不満足層は男性35.9%、女性29.7%と、女性の満足の割合が高く、前回の調査と同様の結果となりました。

図1 生活満足度の推移 (%)

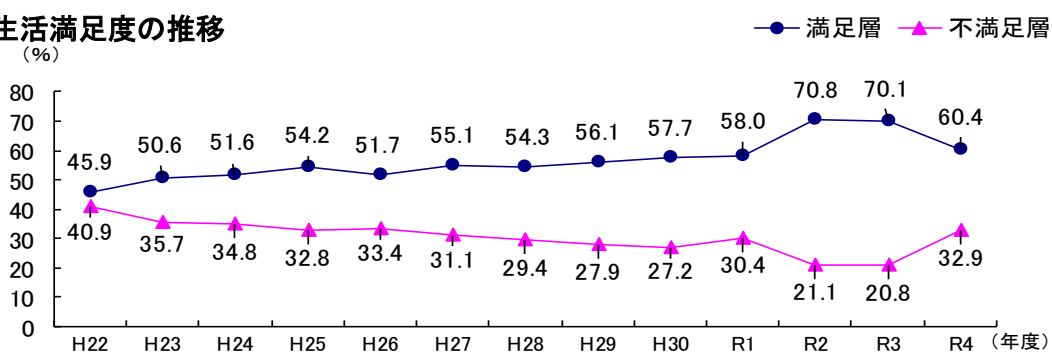
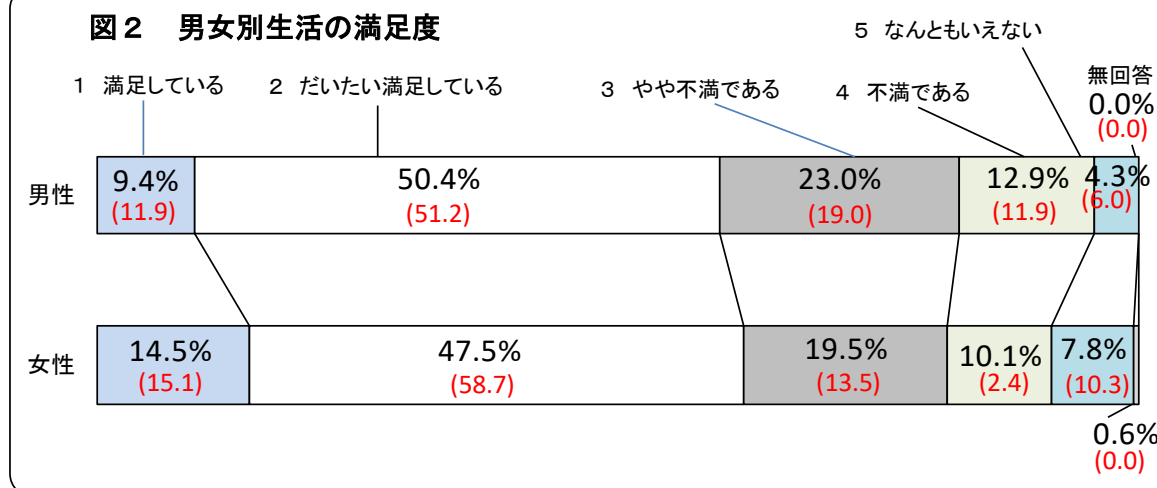
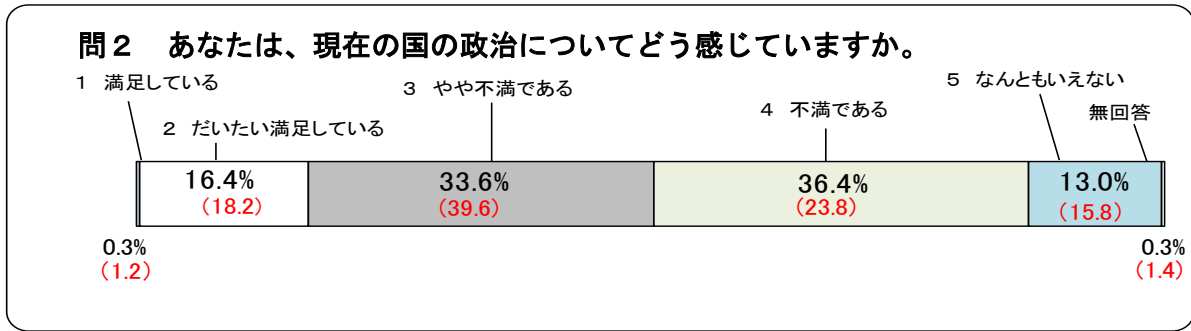


図2 男女別生活の満足度





国政に対する満足層（1と2を回答した人）は、前年より2.7ポイント減少して16.7%であるのに対し、不満足層（3と4を回答した人）は、前年より6.6ポイント増加して70.0%と、依然として国政に対する不満が高い状況が続いています。

最近13年間を見てもみると、満足層は平成25年に10ポイント近く増加し平成27年には20%に達しましたが、その後は減少し、20%を超えることはありません。また、不満足層につきましては、同年に20ポイント近く減少し、平成27年から60%台で推移していましたが、今回70%に達しました。

また、男女別では、満足層は男性21.6%、女性は13.4%で、不満足層は男性73.4%、女性67.6%という結果となりました。

図3 国政満足度の推移

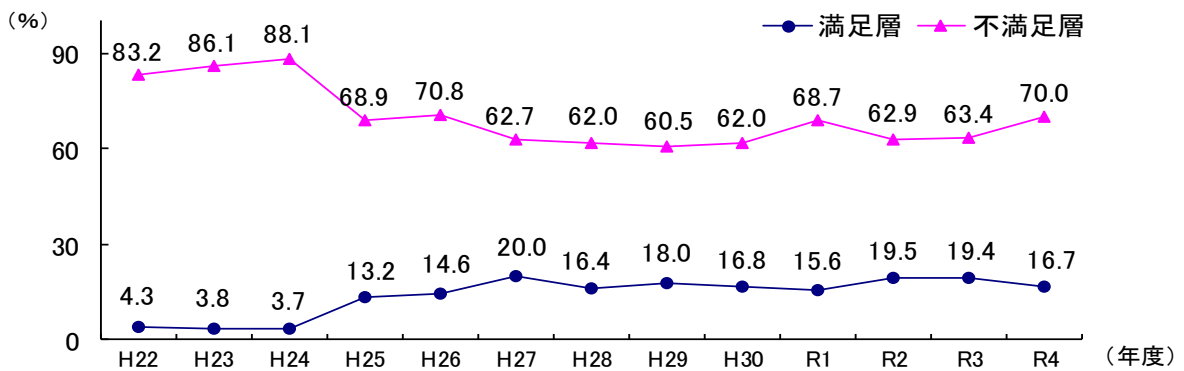
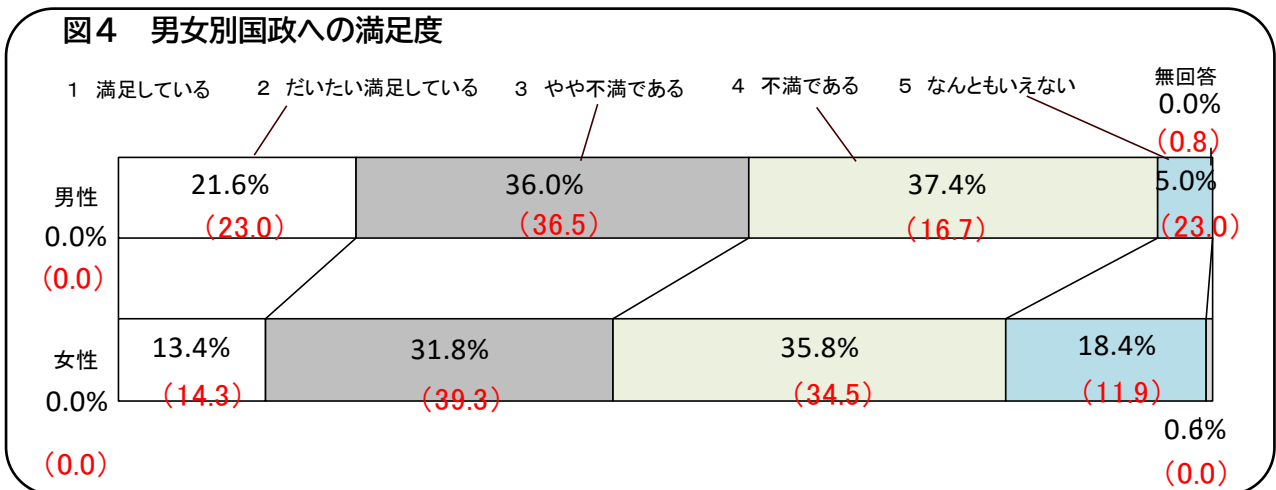
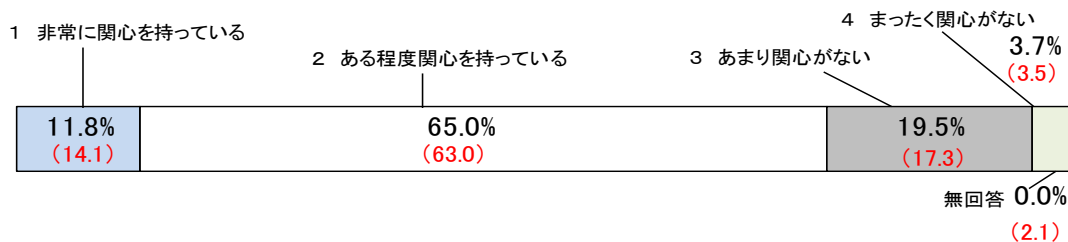


図4 男女別国政への満足度





問3 あなたは、日頃国の政治に関心を持っていますか。



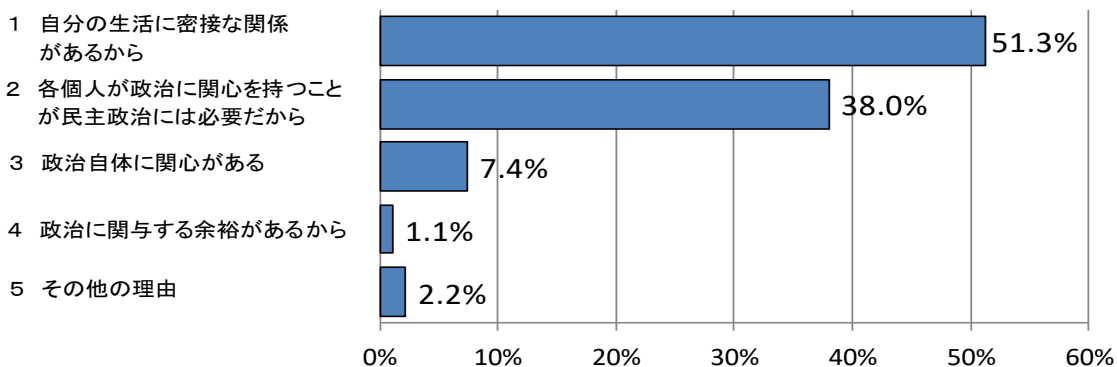
国の政治に関心を持っている人（1と2を回答した人）は76.8%と、昨年よりも0.3ポイント低くなり、関心がない人（3と4を回答した人）も23.2%と、昨年よりも2.4ポイント低くなりましたが、依然として、国政への関心が高いことが分かります。

関心層の理由としては、「自分の生活に密接な関係があるから」（51.3%）が、毎年高い結果となっています。

一方、無関心層では「個人の意見は政治に影響を与えないから」が51.8%で最も高く、続いて、「政治自体に関心がないから」（23.5%）で、いわゆる「あきらめ型」といえる人たちが7割以上を占めています。

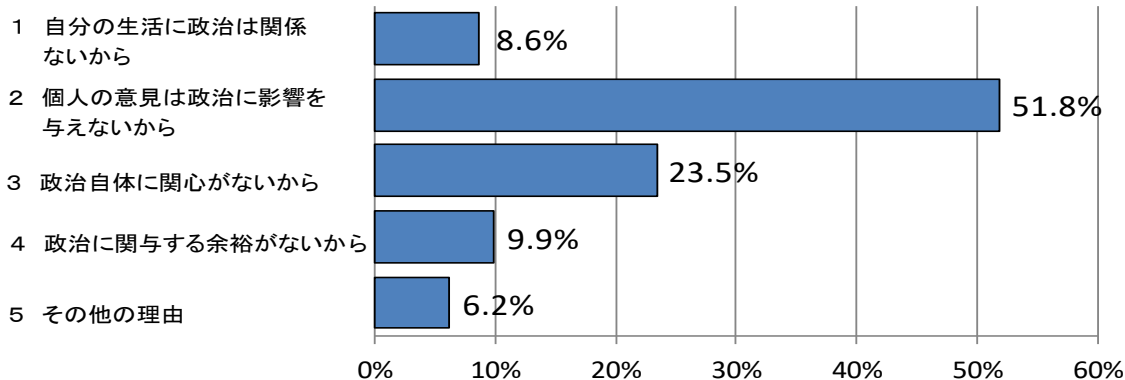
問3の1 その理由はなんですか。

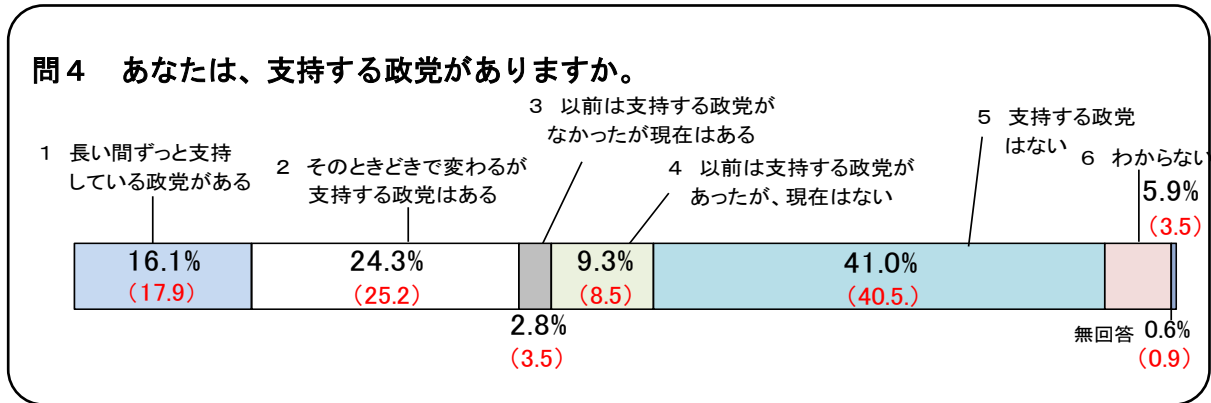
【関心層】



問3の2 その理由はなんですか。

【無関心層】





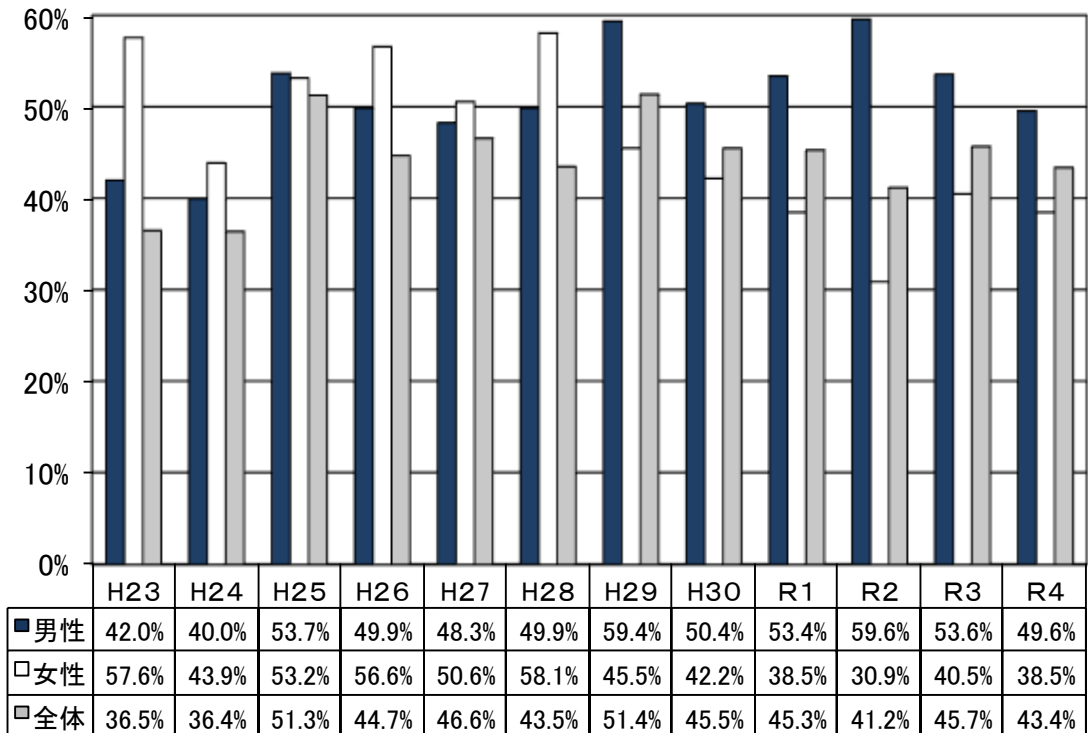
「長い間ずっと支持している政党がある」と答えた固定的政党支持者（16.1%）と、「そのときどきで変わるが支持する政党はある」（24.3%）「以前は支持する政党がなかったが現在はある」（2.8%）と答えた流動的政党支持者を合わせた「支持政党あり」の人は、43.2%と前年に比べて3.4ポイント減少しています。

また、「以前は支持する政党があったが現在はない」あるいは「支持する政党はない」と答えた「支持政党なし」の人は、50.3%と前年より1.3ポイント増加しています。

男女別の「支持政党あり」をみますと、男性は、平成29年以降、50%台で推移していましたが、今回は50%を下回りました。

女性は前回10%近く上昇し40%を超えましたが、今回は再び30%台という結果になりました。

**図5 支持政党ありの推移**



問5 7月10日に第26回参议院議員通常選挙が執行されましたが、あなたは投票にいきましたか。



実際の投票率は52.17%でしたが、「投票に行った」と回答した人は77.7%と非常に高い割合となりました。これは、本アンケートに回答してくださる方は、選挙に対する意識も高い方が多いものと考えられます。

男女別では「投票に行った」と答えた人は男性がやや多くなっています。年代別にみると、60歳代を境に「投票へ行かなかった」割合が増えています。

図6 男女別投票の有無

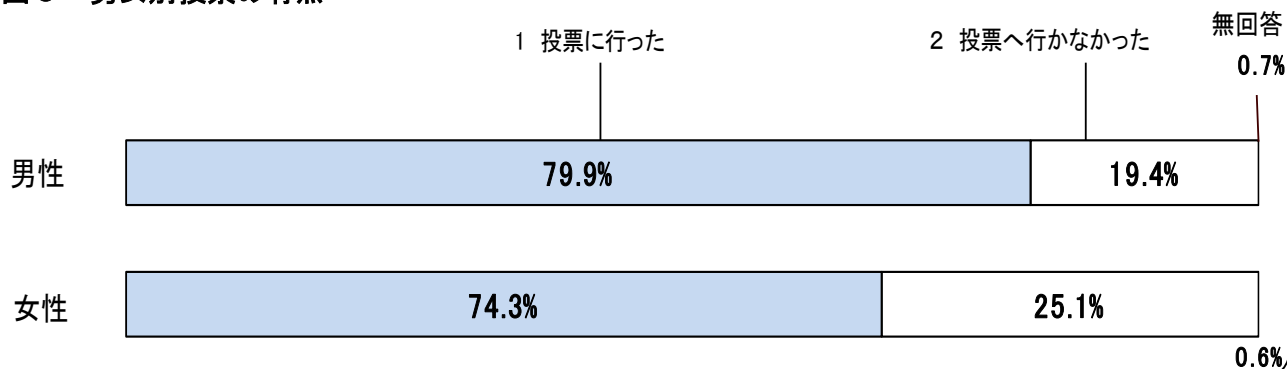
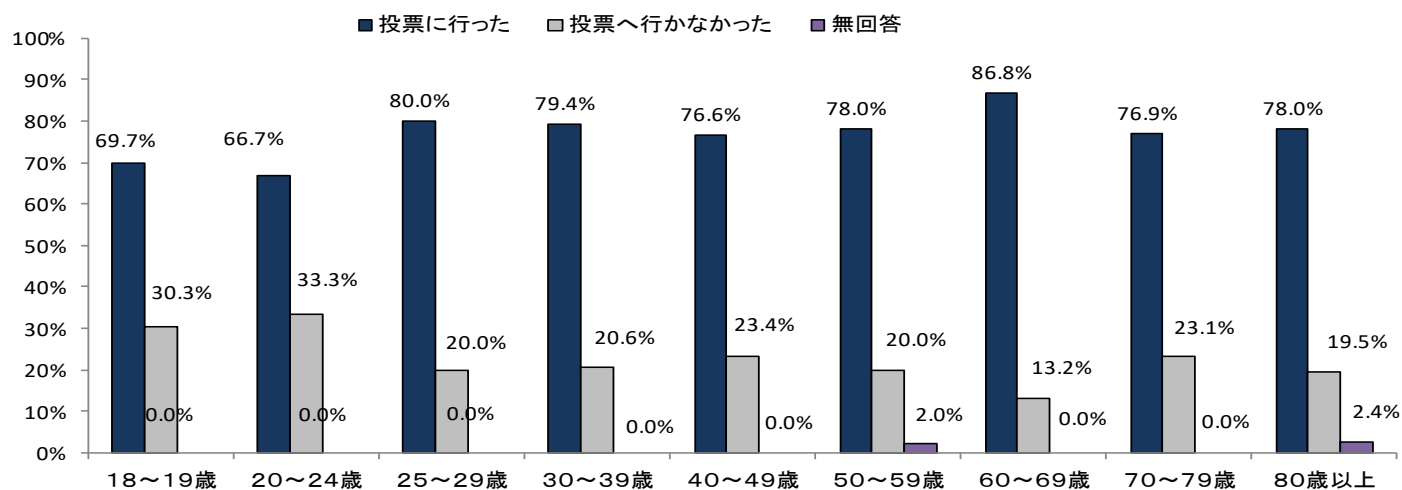
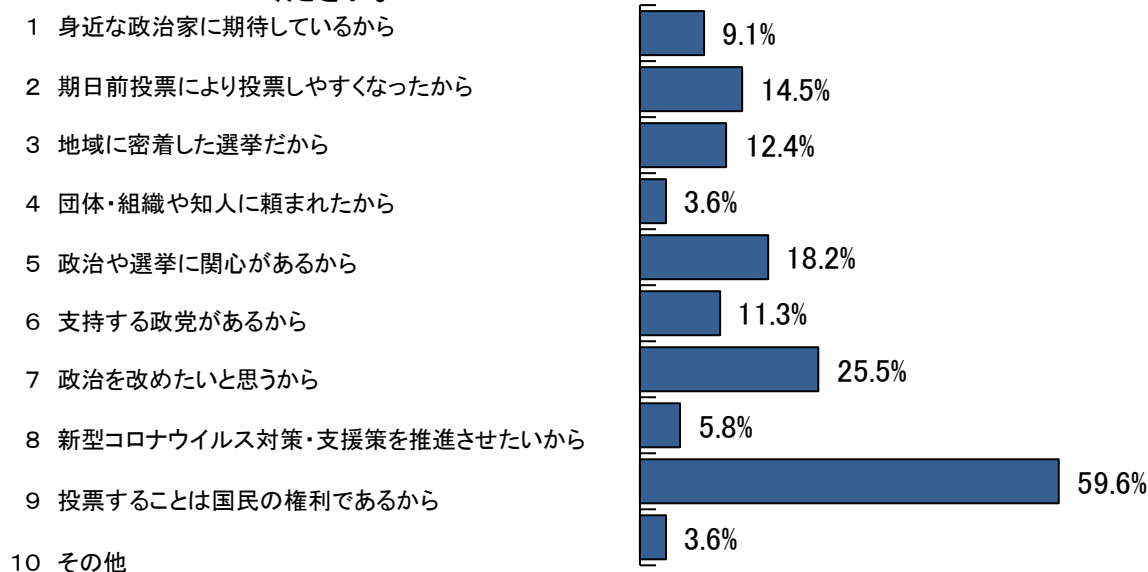


図7 年代別による投票の有無



問5の1 あなたが、投票に行った理由について、次の中から2つまで選んでください。

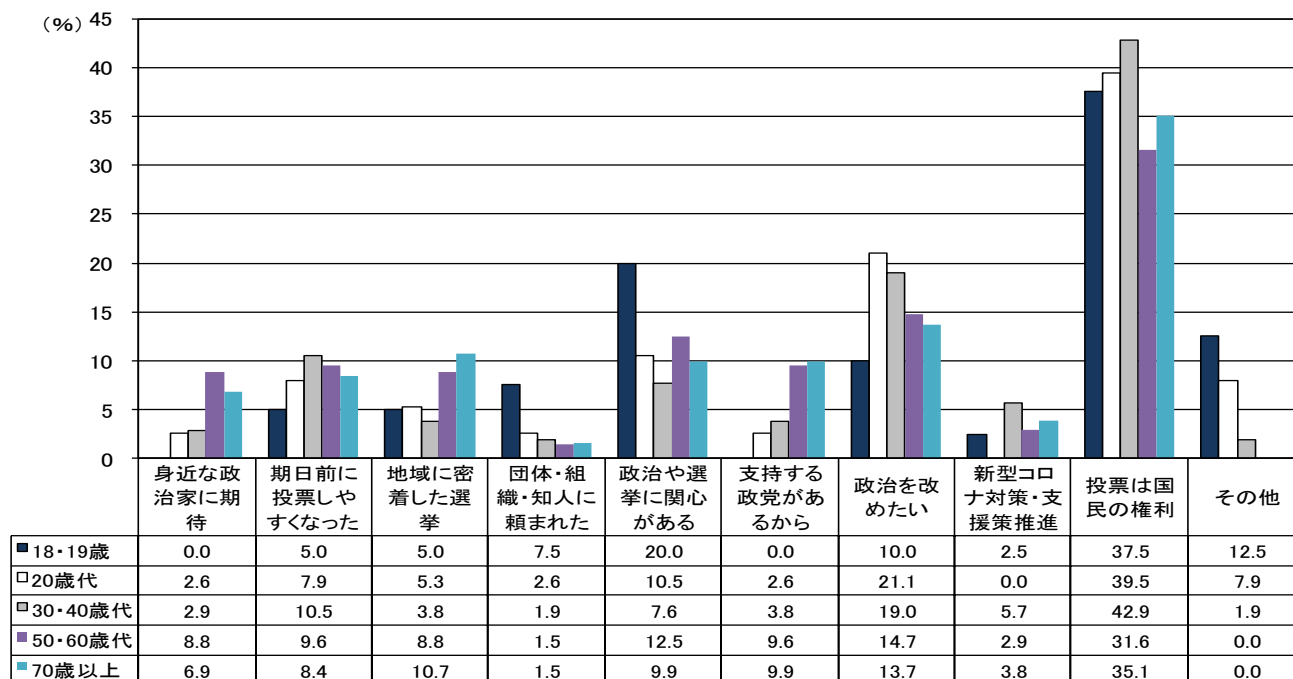


投票に行った理由としては、「投票することは国民の権利であるから」が 59.6%と最も高く、政治に対する積極的な意思よりも、権利を行使するという考えの方が多くと考えられます。

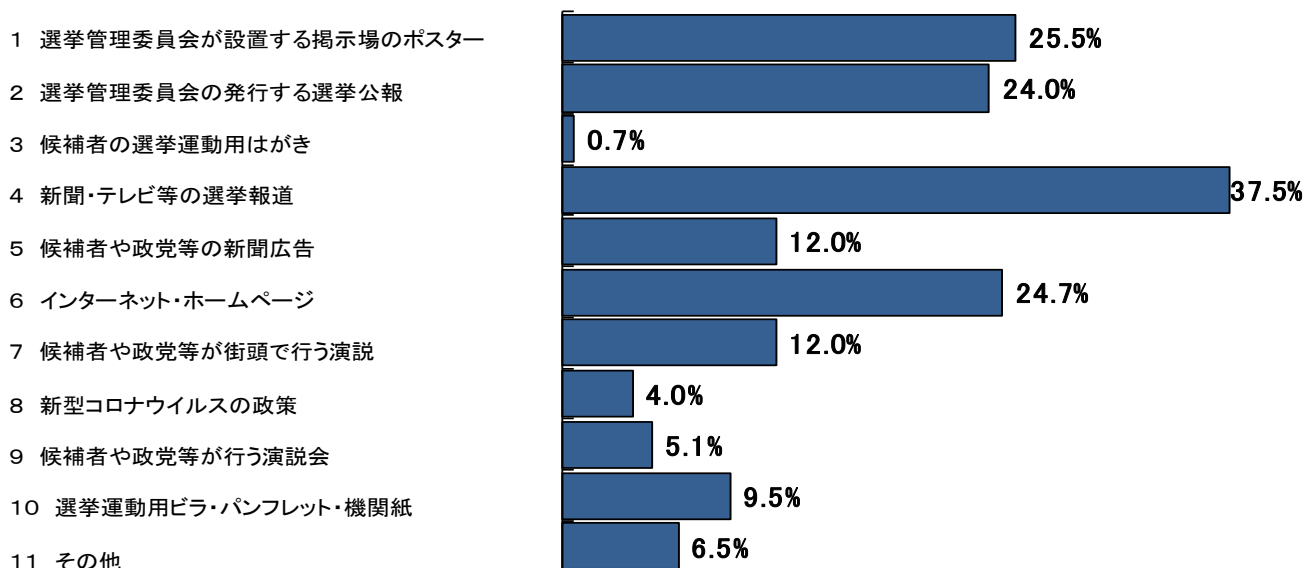
年代別にみると、「投票することは国民の権利であるから」がすべての年代で高くなっていますが、30～40歳代の割合が一番高い結果となりました。

また、投票へ行った理由の2番目に多かった「政治を改めたい」は20・30代が高く、3番目に多かった「政治や選挙に関心がある」は18・19歳の割合が高くなっています。

図8 投票へ行った理由（年代別） ※回答は2つまで



問5の2 あなたが投票する人を決めるときに何を参考にしましたか。  
次の中から2つまで選んでください。

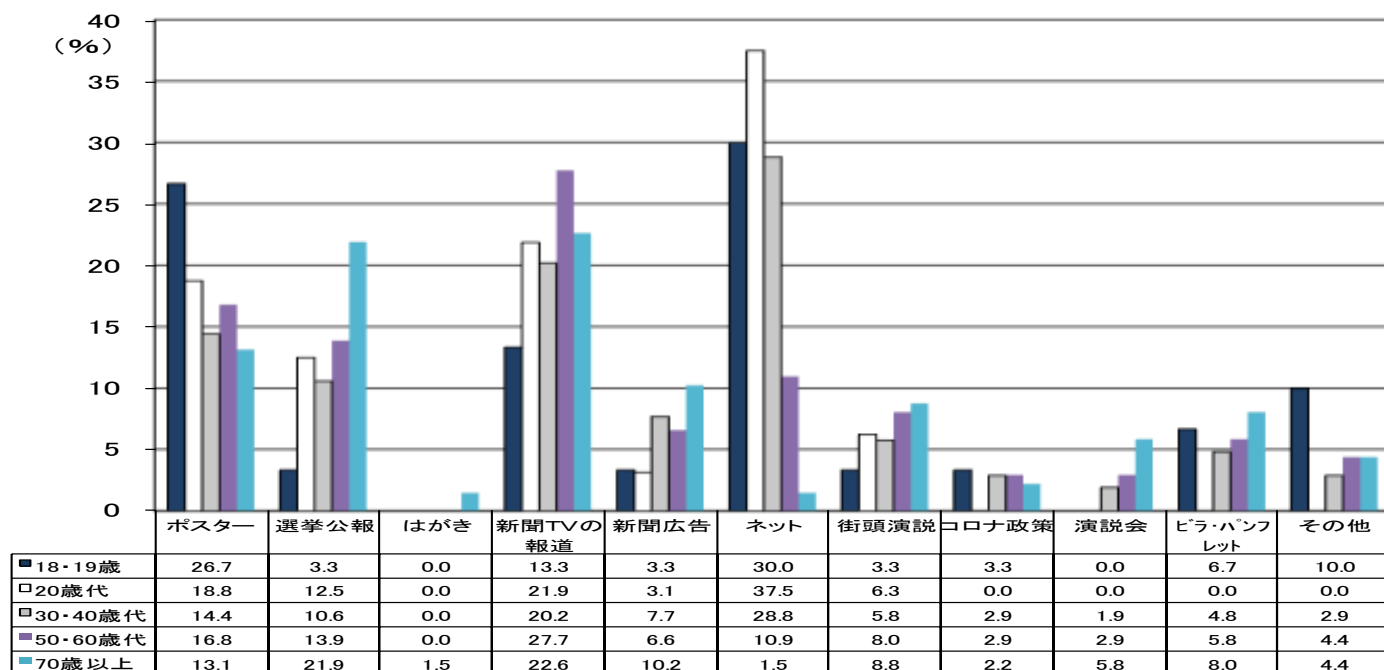


「新聞・テレビ等の選挙報道」(37.5%)が圧倒的に多く、次いで「選挙管理委員会が設置する掲示場のポスター」(25.5%)、「インターネット・ホームページ」(24.7%)の順になっています。これらは、身近にある媒体であるため、情報を容易に得ることができ、政党や候補者の比較がしやすいためと思われます。

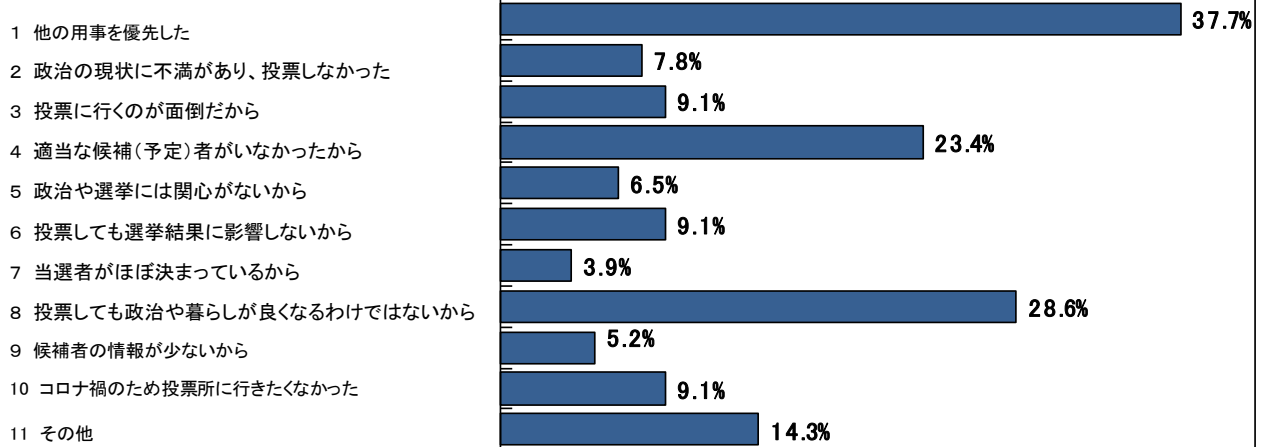
年代別にみると、「新聞・テレビの報道」は特に50・60歳代の割合が高くなっています。

「選挙公報」と「ネット」については、50歳代を境にして、全く逆の割合を示しています。また、10歳代、20歳代の若い世代は、街中に見る「ポスター」の割合が高くなっています。

図9 投票の際役に立った媒体（年代別）



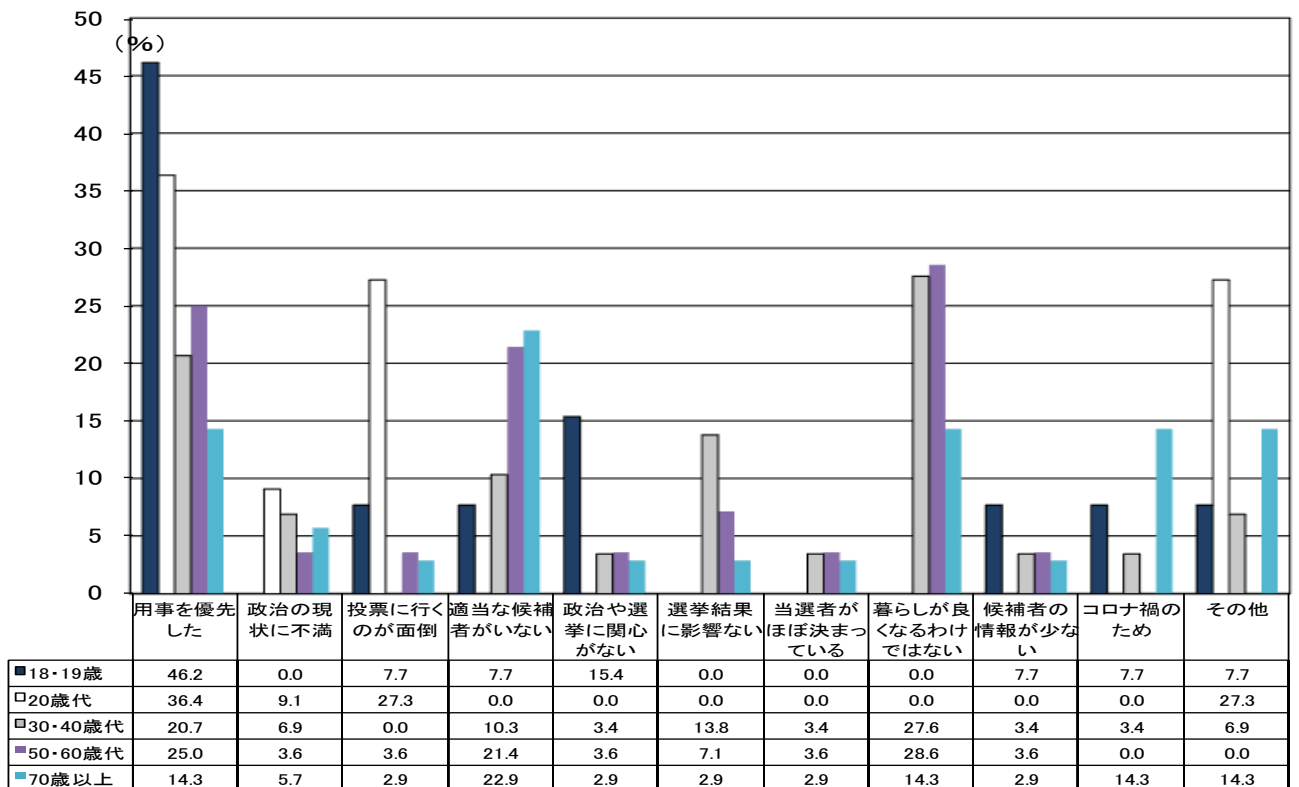
問5の3 あなたが、投票に行かなかった理由は何ですか。  
次の中から2つまで選んでください。



投票に行かなかった理由として、「他の用事を優先した」(37.7%)、「投票しても政治や暮らしが良くなるわけではないから」(28.6%)が高くなっており、政治や政治家に対するあきらめ感や積極的に関わる考えがないことが見て取れます。

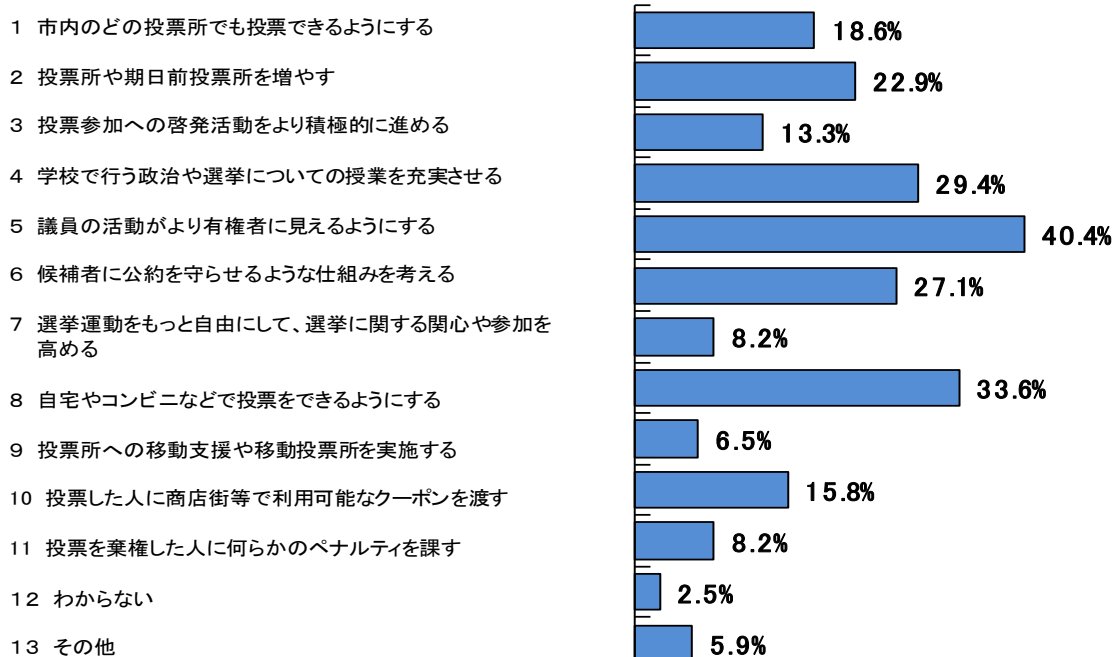
年代別にみると、20歳代までの若い世代では、「用事を優先した」が比較的高く、生活を優先していることが読み取れ、30歳代以上は「暮らしが良くなるわけではない」の割合が高く、あきらめ感が強くなっていると考えられます。

図10 投票へ行かなかった理由(年代別)



## 問6 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。

次の中から3つまで選んでください。



投票率を上げるための方法として、3つまで選択していただきました。最も多かったのは、「議員の活動がより有権者に見えるようにする」が40.4%、2番目は、「自宅やコンビニなどで投票をできるようにする」が33.6%、3番目は、「学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる」が29.4%、4番目は、「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が27.1%という結果になりました。

なお、昨年の調査における上位は、「議員の活動がより有権者に見えるようにする」が37.8%、「学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる」が32.8%、「自宅やコンビニなどで投票をできるようにする」が30.5%、「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が24.9%、でしたので、順位に変動はあったものの、投票率向上のための方法には変わりはないようです。



みんなの一票大切に！

図 11、図 12 は、問 6 の結果を年代別に分析し、まとめたものです。

「議員活動の見える化」は、各年代で総じて高く、特に 50 歳代以降の世代では 1 位に入っております。これは、普段の政治活動を知ること、投票の際の判断材料となるのではないか、と考えている人が多いことがわかります。

また、「学校教育の充実」は 10 代、20 代で 1 位・2 位に入っており、若い世代ほど学校教育の充実の必要性を感じていると考えられます。

図 1 1 投票率を上げるための方法（年代別） ※3 つまで選択可

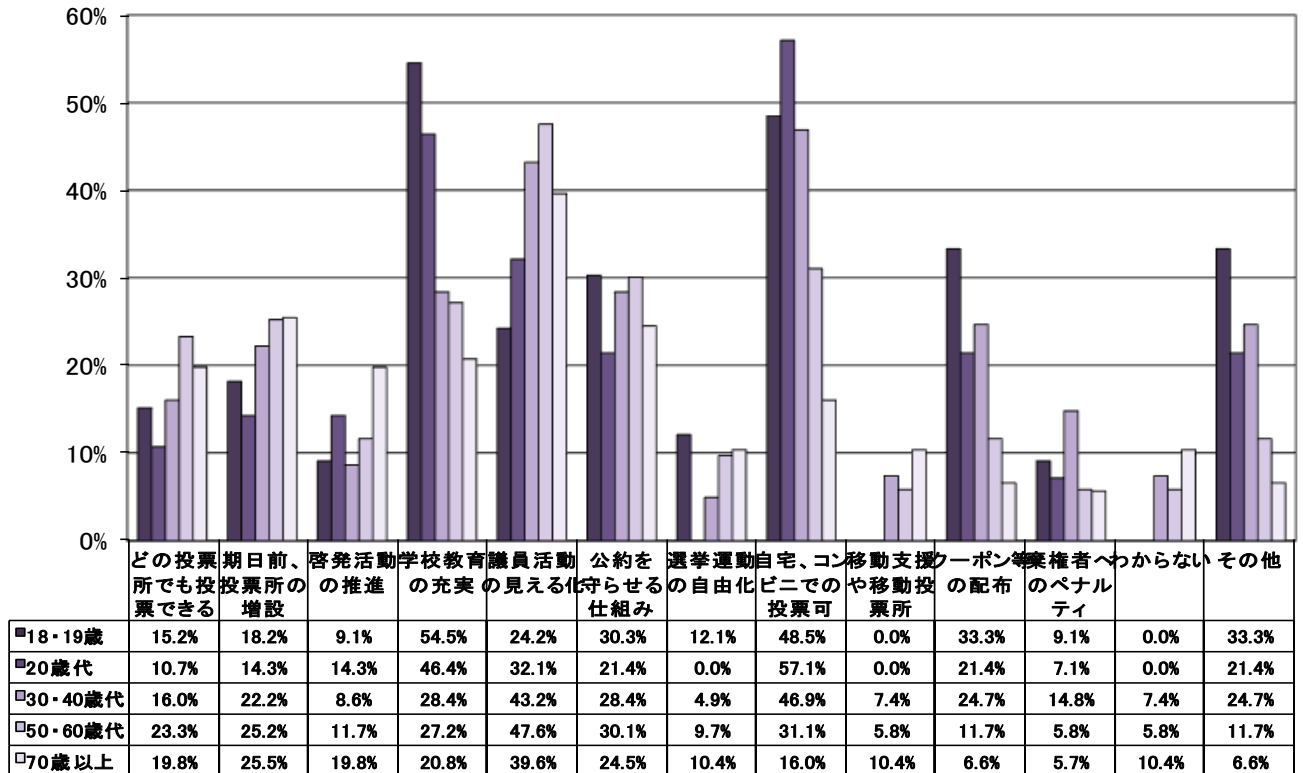
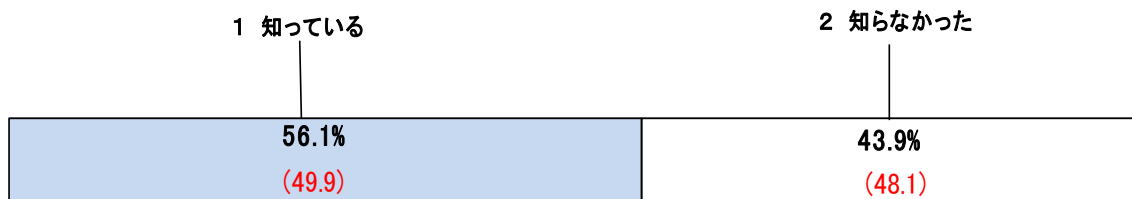


図 1 2 投票率を上げるための方法（年代別上位 5 位） ※その他は除く

	1位:年代別割合	2位:年代別割合	3位:年代別割合	4位:年代別割合	5位:年代別割合
18・19歳	学校教育の充実 54.5%	自宅、コンビニでの投票 48.5%	クーポン等の配付 33.3%	公約を守る仕組み 30.3%	議員活動の見える化 24.2%
20歳代	自宅、コンビニでの投票 57.1%	学校教育の充実 46.4%	議員活動の見える化 32.1%	公約を守る仕組み・クーポン等の配布 21.4%	
30・40歳代	自宅、コンビニで投票 46.9%	議員活動の見える化 43.2%	学校教育の充実・公約を守る仕組み 28.4%		クーポン等の配付 24.7%
50・60歳代	議員活動の見える化 47.6%	自宅、コンビニで投票 31.1%	公約を守る仕組み 30.1%	学校教育の充実 27.2%	期日前、投票所の増設 25.2%
70歳代以上	議員活動の見える化 39.6%	期日前、投票所の増設 25.5%	公約を守る仕組み 24.5%	学校教育の充実 20.8%	啓発活動の推進 19.8%



問7 あなたは、期日前投票所が、4か所あることをご存知でしたか。

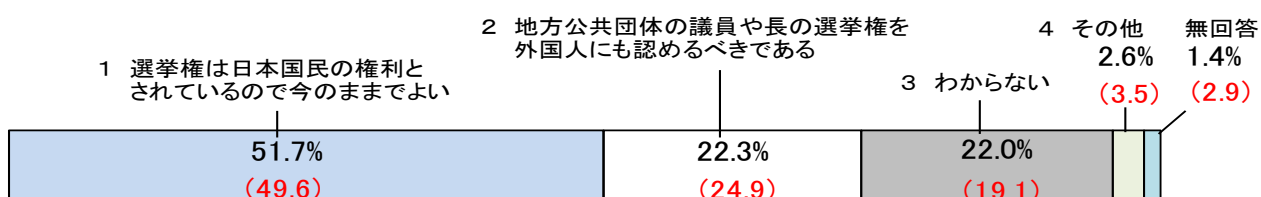


期日前投票所が4か所あることを知っていると答えたのは56.1%で、昨年から6.2ポイント増加しましたが、全体の半数強に留まりました。2019年の県選挙、市選挙及び参議院選挙から、市内の期日前投票所が2か所から4か所に増加し、2021年の衆議院選挙では、一部会場が変わったこともあるため、認知度がやや低い結果となりました。

ただし、令和2年の調査では、期日前投票の制度を87.4%の人が知っていると答えており、平成16年から開始された期日前投票制度は、多くの人に認知されていることがわかります。引き続き、期日前投票所の場所、開設期間及び時間については、様々な方法で周知に努めてまいります。



問8 国内在住の日本国籍を有していない人（外国人）は国政選挙と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権（投票する権利）がありませんが、どう思いますか。



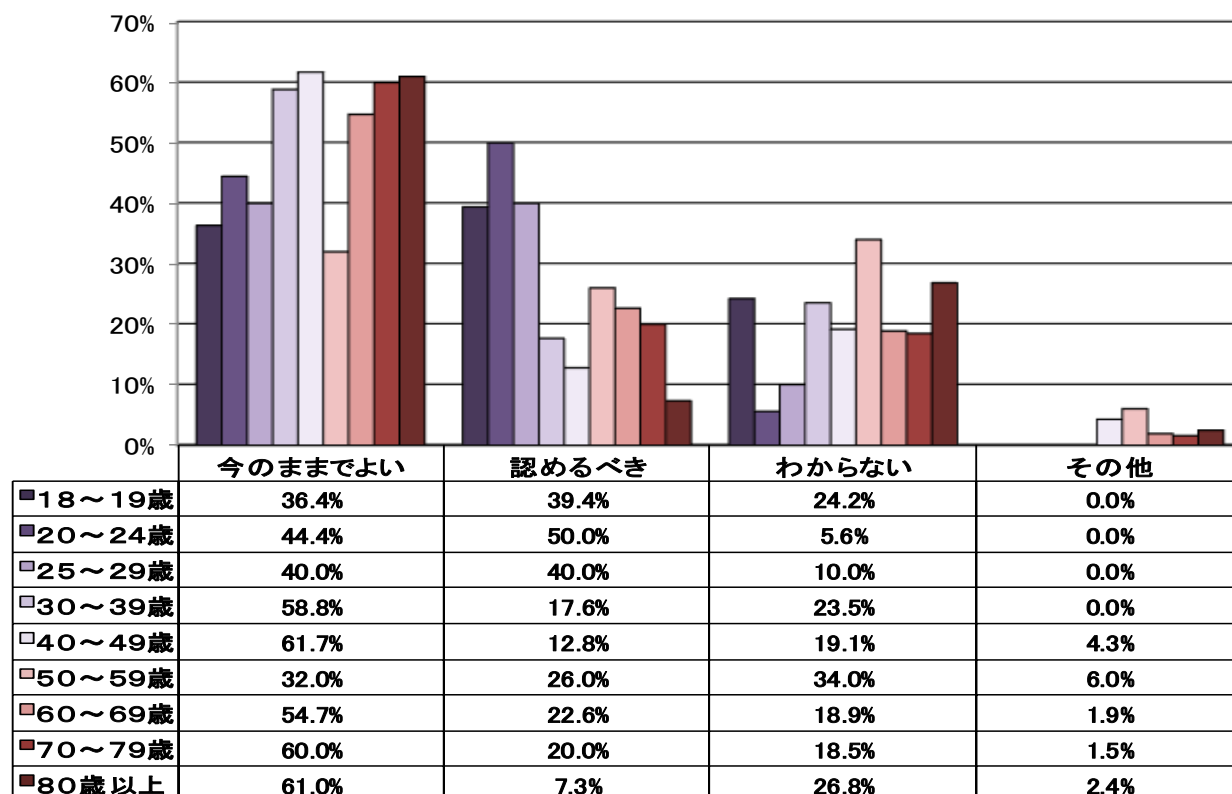
外国人に選挙権を付与することについては、「選挙権は日本国民の権利とされているので今のままでよい」が51.7%となっており、昨年よりも2.1ポイント、否定的な回答が増加しています。

また、「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人は22.3%であり、こちらは昨年と比べて2.6ポイント低い結果となりました。

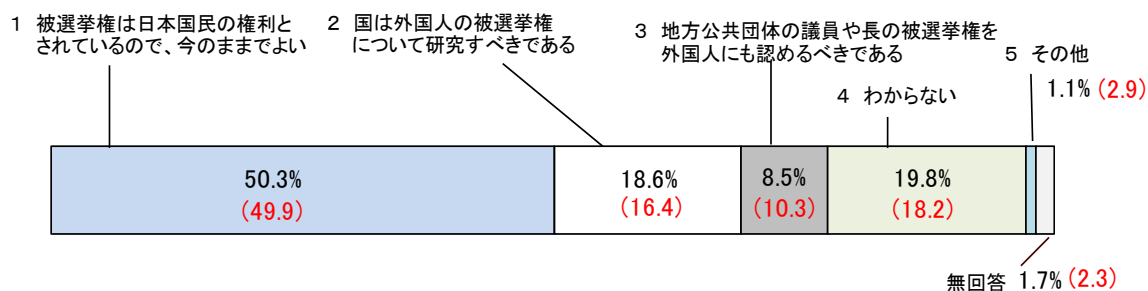
なお、「その他」の回答では、「税金を納めているなら認めるべき」、「在住期間によっては認めてもよい」などがありました。

年代別にみると、29歳以下で「認めるべきである」と答えている人の傾向が4割～5割と高いものの、年代が上がると参政権を認める割合が減少傾向になっています。

図13 「外国人の選挙権」に関する意識の年代別内訳



問9 また、同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権（選挙の候補者となる権利）もありませんが、どう思いますか。



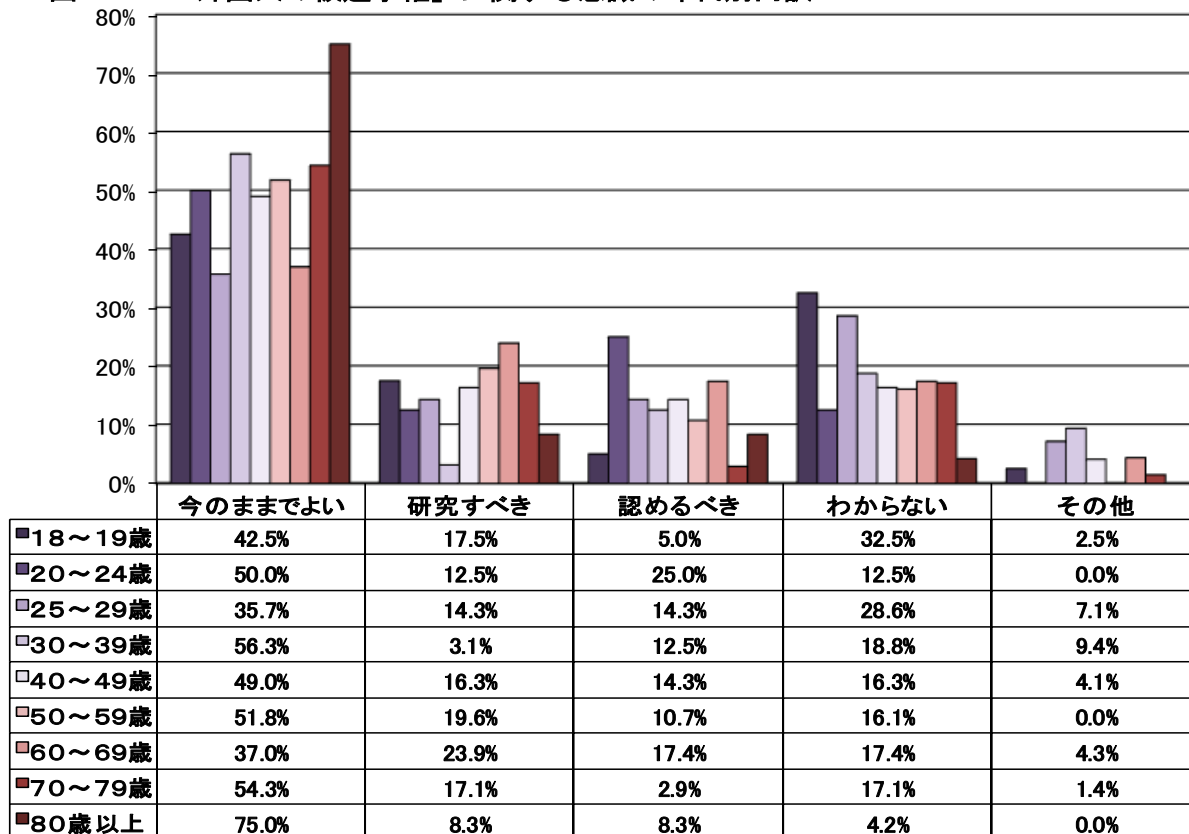
外国人の被選挙権についても、「被選挙権は日本国民の権利とされているので今のままでよい」が50.3%と最も多く、ほぼ半数の人が否定的です。

問8で「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人は22.3%いましたが、外国人の被選挙権について認める人は8.5%と低くなっており、慎重な意見が多いことがうかがえます。

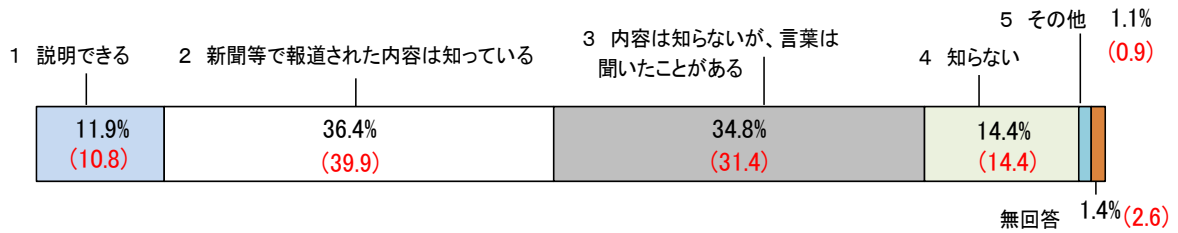
ただし、「その他」の回答の中には、「在住期間によっては認めてもよい」との意見などがありました。

また、年代別にみても、「今のままでよい」と回答した人の割合が、すべての年代で高くなっています。最も若い19歳以下においても、選挙権については3割近くが「認めるべきである」と答えている一方、「被選挙権を認めるべきである」の回答は1割未満と低くなっています。

図14 「外国人の被選挙権」に関する意識の年代別内訳



問10 憲法改正のためには、国民が賛否を投票（国民投票制度）することが必要となりますが、この制度を知っていますか。



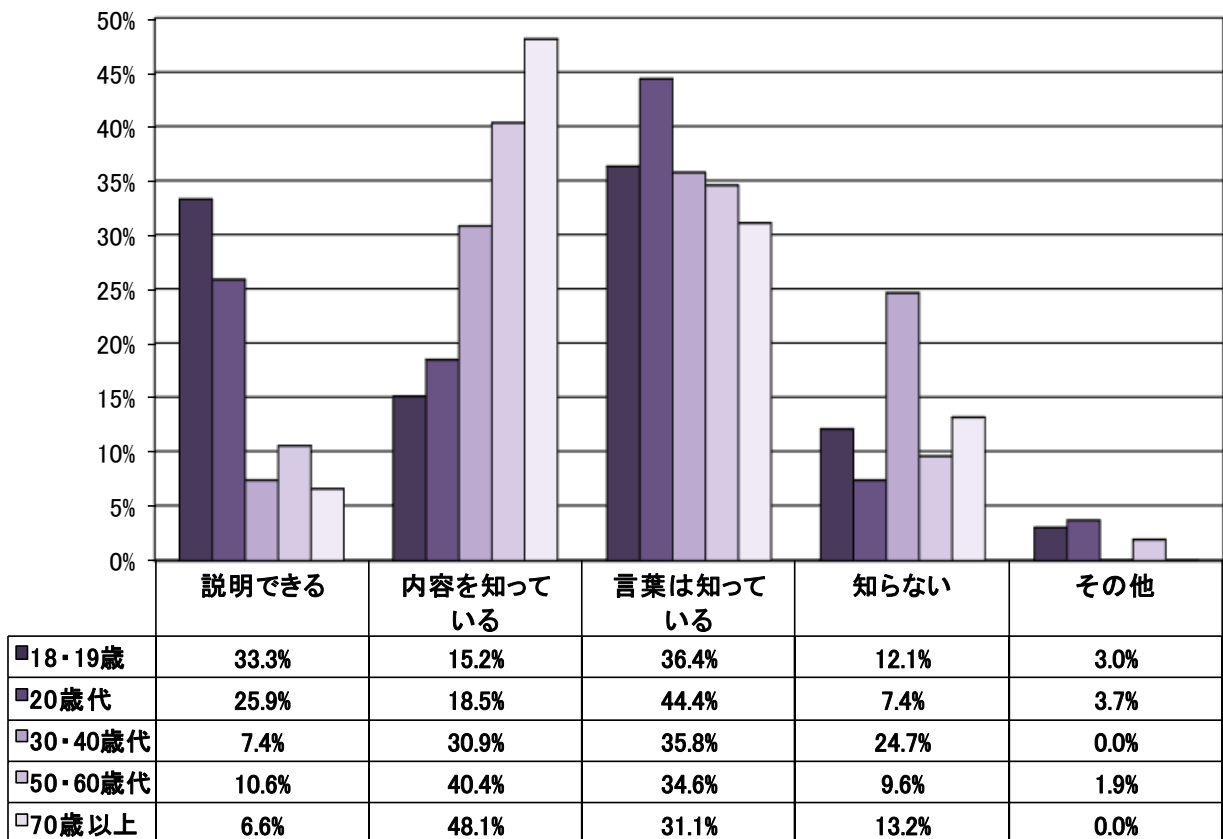
憲法改正が政治の話題となる機会が増えているから、憲法改正に必要な手続きである国民投票制度の認知状況について質問をしました。

制度の内容まで「説明できる」と回答した方は11.9%でしたが、「新聞等で報道された内容は知っている」（36.4%）と「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」（34.8%）を合わせると83.1%となり、「国民投票」という言葉については広く認知されていることが確認できました。

年代別にみると、若い世代は半数近くが「言葉は知っている」と答え、50歳代以上では、半数近くが「内容を知っている」と答えています。

なお、20歳代以下では「説明できる」と答えた割合が比較的高く、学校の授業で取り上げられている効果が表れているものと思われます。

図15 国民投票制度の認知状況（年代別）



## (5) 意見・感想の集計

---

### **自由意見の集計 (143 件)**

意識調査にご協力をいただいた方で、意見・感想をご記入いただいたものについて、分類集計いたしました。

#### **1. 政治家（政党）に関する意見 (51 件)**

- ①政治家の不正や無責任等に対する不信 (8 件)
- ②投票したいと思う政治家（政党）がない (5 件)
- ③政治家（政党）の政治に対する姿勢への不満 (13 件)
- ④政治家（政党）の批判合戦に対する不満 (2 件)
- ⑤議員・候補者の意見や活動が分かりにくい (11 件)
- ⑥議員の高齢化について (1 件)
- ⑦議員定数や議員報酬について (9 件)
- ⑧その他 (2 件)

#### **2. 政治に関する意見 (23 件)**

- ①現状の政治に不満がある（不祥事等） (11 件)
- ②今後の政治への願い等 (8 件)
- ③コロナ対策の政治 (1 件)
- ④その他 (3 件)

#### **3. 選挙制度に関する意見 (14 件)**

- ①今の時代に合致していな公職選挙法への批判 (8 件)
- ②日本国籍と選挙権（含、外国人参政権）について (3 件)
- ③その他 (3 件)

#### **4. 主権者教育に関する意見 (5 件)**

- ①主権者教育の重要性 (5 件)

#### **5. 投票環境・投票率の向上に関する意見 (26 件)**

- ①投票所・期日前投票所に関する意見 (6 件)
- ②インターネット等の投票推進に関する意見 (5 件)
- ③投票率向上のための提案 (6 件)
- ④その他 (9 件)

#### **6. その他 (24 件)**

- ①日本の将来についての意見 (1 件)
- ②市政・市議会に対する意見 (1 件)
- ③このアンケート調査について (12 件)
- ④政治や選挙に関心がある (4 件)
- ⑤政治や選挙の無関心 (3 件)
- ⑥その他 (3 件)

# 4 調 査 票

令和4年度  
政治と選挙についての意識調査

大和市明るい選挙推進協議会  
大和市選挙管理委員会事務局  
電話：046(260)5542  
(電話受付時間：月曜日～金曜日  
※土、日、祝日を除く  
9:00～12:00、13:00～17:00)

(記入及び郵送についてのお願ひ)  
1 必ずご本人が記入してください。  
2 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。  
3 設問は上から順に回答してください。また矢印や指示がある場合は、それに従ってください。  
4 記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信用封筒でご返送ください。  
5 12月2日(金)までにご返面くださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

回収箱番号

■ 最初にあなた自身のことについてお聞かせください。

性 別	1 男性	2 女性		
年 代	1 18～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～39歳
	5 40～49歳	6 50～59歳	7 60～69歳	8 70～79歳
	9 80歳以上			
職 業	(自営業、家族従事者)		2 商・工業(商店、個人工場経営者など)	
	1 農・林・漁業		4 建設業	
	3 自由業(開業医、弁護士、芸術家など)			
職 業	(勤め人)		6 事務職(一般事務、経理など)	
	5 管理職(企業や公務員の課長職以上)		8 実業職・販売職(作業的な仕事、販売・サービスの仕事、パート的な仕事など)	
	7 専門技術職(医師、看護師、技術者、教師、保育士など)			
職 業	(無職)		10 学生	
	9 主婦・主夫(専業)			
	11 その他の無職			
居住地区	1 下鶴間・つきみ野		2 中央林間・中央林間西	
	3 南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1丁目、2丁目、6丁目～8丁目)		4 鶴間(1丁目)・西鶴間(3丁目～5丁目)	
	5 上草柳・桜森		6 深見・深見西・深見東・深見台・大和東・大和南	
	7 中央・草柳(1丁目、2丁目)・下草柳		8 草柳(3丁目)・柳橋・福田(1丁目～8丁目)	
	9 上和田(上和田団地を除く)		10 上和田団地・下和田・いちよう団地	
	11 福田(地番)・渋谷・代官			
現住所の居住年数	1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満
	5 20～30年未満	6 30年以上	7 わからない	
投票所までの所要時間	1 5分未満	2 10分未満	3 20分未満	4 20分以上
	5 わからない	※「徒歩」による移動を想定した場合の時間数で番号を選択してください。		

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 満足している                      2 たいがい満足している                      3 やや不満である                      4 不満である  
5 なんともいえない

問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 満足している                      2 たいがい満足している                      3 やや不満である                      4 不満である  
5 なんともいえない

問3 あなたは、日頃国の政治に関心をもっていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 非常に関心をもっている                      2 ある程度関心をもっている                      3 あまり関心がない                      4 まったく関心がない  
(1、2と回答された方は 問3の1へ)                      (3、4と回答された方は 問3の2へ)

(問3の1) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 自分の生活に密接な関係があるから  
2 各個人が政治に関心をもつことが民主政治には必要だから  
3 政治自体に興味があるから  
4 政治に関与する余裕があるから  
5 その他(具体的に: )

(問3の2) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 自分の生活に政治は関係ないから  
2 個人の意見は政治に影響を与えないから  
3 政治自体に興味がないから  
4 政治に関与する余裕がないから  
5 その他(具体的に: )

問4 あなたは、支持する政党がありますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 長い間ずっと支持している政党がある                      2 そのときどきで変わるが、支持する政党はある  
3 以前は支持する政党がなかったが、現在はある                      4 以前は支持する政党があったが、現在は無い  
5 支持する政党はない                      6 わからない

(裏面にも設問がありますので、ご協力をお願いいたします。)



問 5 7月10日に第26回参議院議員通常選挙が執行されましたが、あなたは投票に行きましたか。

1. 投票に行った (期日前・不在者投票含む)

2. 投票に行かなかった

(1 問5の1、2へ)

(⇒ 問5の3へ)

(問5の1) あなたが、投票に行った理由について、次の中から2つまで選んでください。

- |                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| 1 身近な政治家に期待しているから   | 2 期日前投票により投票しやすくなったから       |
| 3 地域に密着した選挙だから      | 4 団体・組織や知人に頼まれたから           |
| 5 政治や選挙に関心があるから     | 6 支持する政党があるから               |
| 7 政治を改めたいと思うから      | 8 新型コロナウイルスの対策や支援策を推進させたいから |
| 9 投票することは国民の権利であるから | 10 その他 ( )                  |

(問5の2) あなたが、投票する人を決めるときに何を参考にしましたか。次の中から2つまで選んでください。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1 選挙管理委員会が設置する掲示場のポスター | 2 選挙管理委員会の発行する選挙公報    |
| 3 候補者の選挙運動用はがき         | 4 新聞・テレビ等の選挙報道        |
| 5 候補者や政党等の新聞広告         | 6 インターネット・ホームページ      |
| 7 候補者や政党等が街頭で行う演説      | 8 新型コロナウイルスの政策        |
| 9 候補者や政党等が行う演説会        | 10 選挙運動用ビラ・パンフレット・機関紙 |
| 11 その他 ( )             |                       |

(問5の3) あなたが、投票に行かなかった理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1 他の用事を優先したから    | 2 政治の現状に不満があり、投票しなかった    |
| 3 投票に行くのが面倒だから   | 4 適当な候補 (予定) 者がいないから     |
| 5 政治や選挙には関心がないから | 6 投票しても選挙結果に影響しないから      |
| 7 当選者がほぼ決まっているから | 8 投票しても政治や暮らしが良くならないから   |
| 9 候補者の情報が少ないから   | 10 コロナ禍のため投票所に行きたくなかったから |
| 11 その他 ( )       |                          |

(問6へ)

(問6へ)

問 6 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1 市内のどの投票所でも投票できるようにする          | 2 投票所や期日前投票所の場所を増やす        |
| 3 投票参加への啓発活動をより積極的に進める          | 4 学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる  |
| 5 議員の活動がより有権者に見えるようにする          | 6 候補者に公約を守らせるような仕組みを考える    |
| 7 選挙運動をもっと自由にして、選挙に関する関心や参加を高める | 8 自宅やコンビニなどで投票をできるようにする    |
| 9 投票所への移動支援や移動投票所を実施する          | 10 投票した人に商店街等で利用可能なクーポンを渡す |
| 11 投票を棄権した人に何らかのペナルティを課す        | 12 わからない                   |
| 13 その他 (具体的に: )                 |                            |

問 7 あなたは期日前投票所が、4か所あることをご存知でしたか ①大和市役所、②渋谷学習センター(KOUZA)、③シリウス、④ポラリス。

- 1 知っている  
2 知らなかった (※当日に投票所に行けない方は、午後8時まで、どこの期日前投票所でも投票することができますのでご利用ください)

問 8 国内在住の日本国籍を有していない人(外国人)は、国政選挙(衆・参議院選挙)と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権(投票する権利)がありませんが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い  
2 地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである  
3 わからない  
4 その他 (具体的に: )

問 9 また同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権(候補者となる権利)もありませんが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 被選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い  
2 国は外国人の被選挙権について研究すべきである  
3 地方公共団体の議員や長の被選挙権を外国人にも認めるべきである  
4 わからない  
5 その他 (具体的に: )

問 10 憲法改正のためには、国民が賛否を投票(国民投票制度)することが必要となりますが、あなたはこの制度をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。

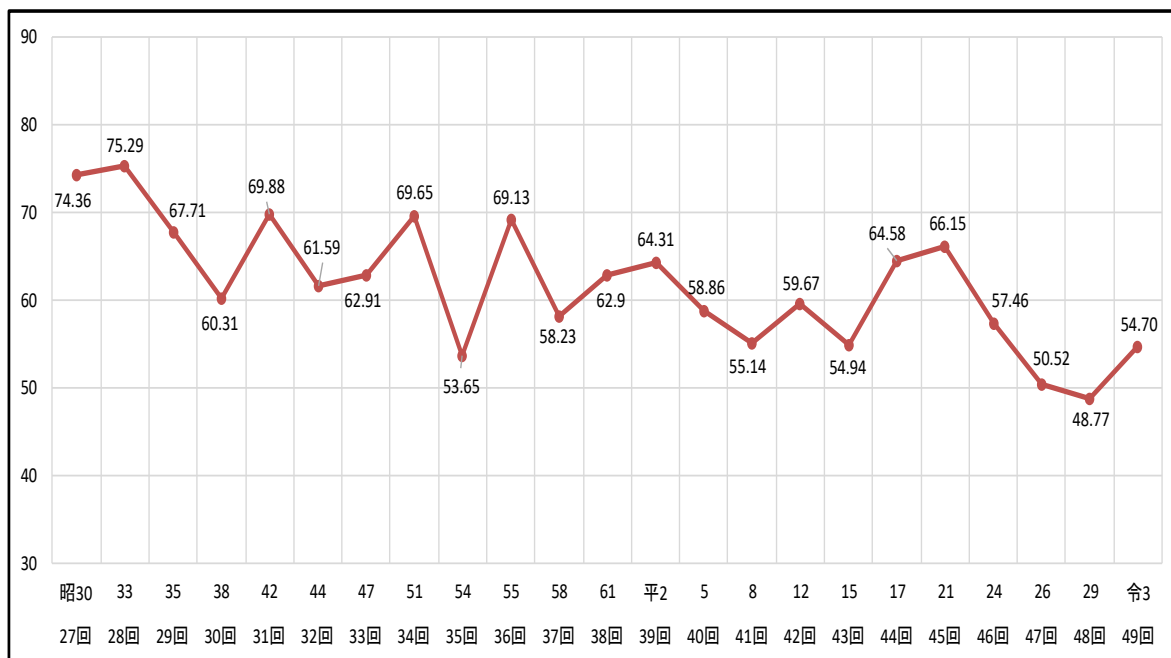
- 1 知人等に説明できる程度は知っている  
2 新聞等で報道された内容は知っている  
3 内容は知らないが「国民投票 (制度)」という言葉は聞いたことがある  
4 知らない  
5 その他 (具体的に: )

◎ 自由意見欄 : 政治や選挙に関して日頃から感じていること、またはこのアンケートに回答して感じたこと等、自由にご記入ください。

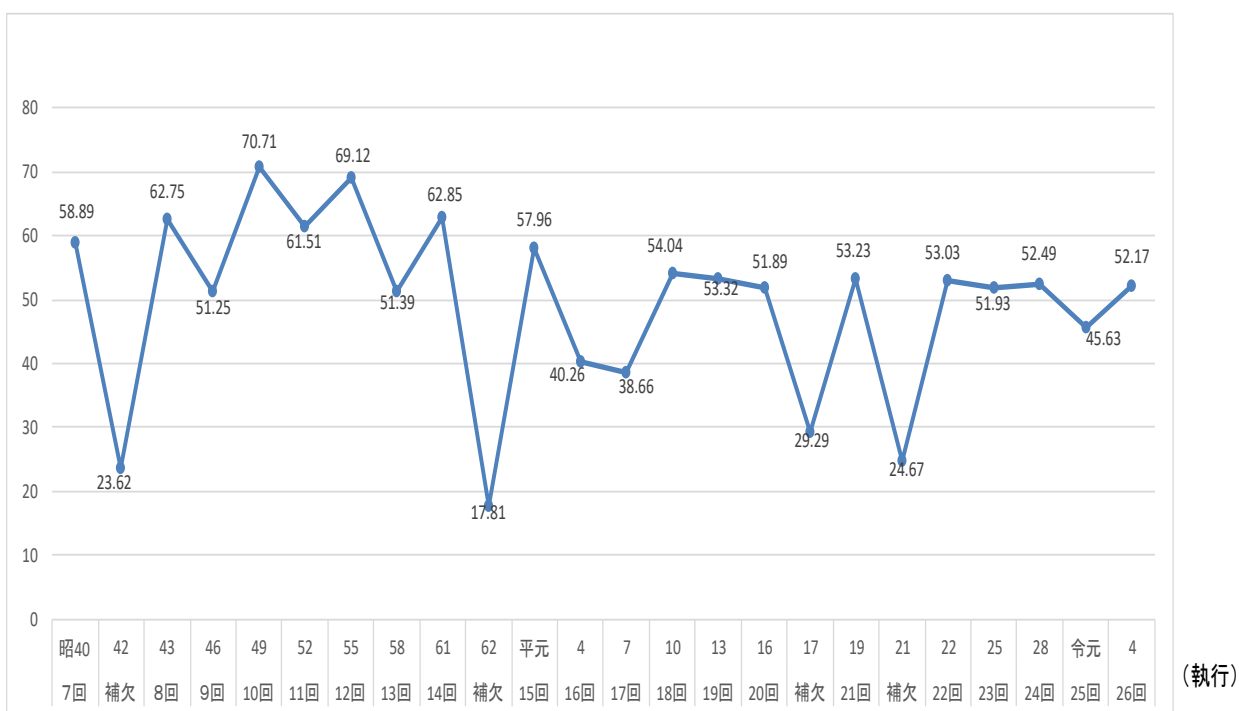
ご協力ありがとうございました。

## 5 資 料

(1) 衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移 (大和市)



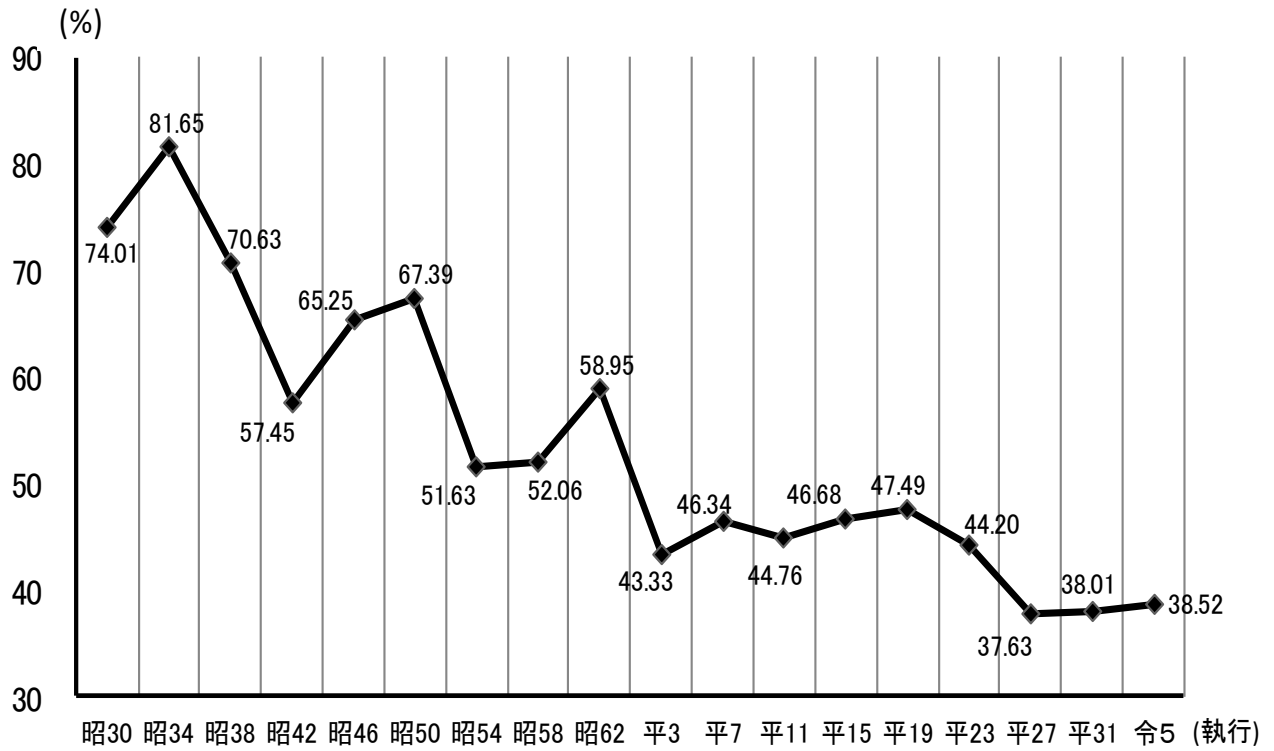
(2) 参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移 (大和市)



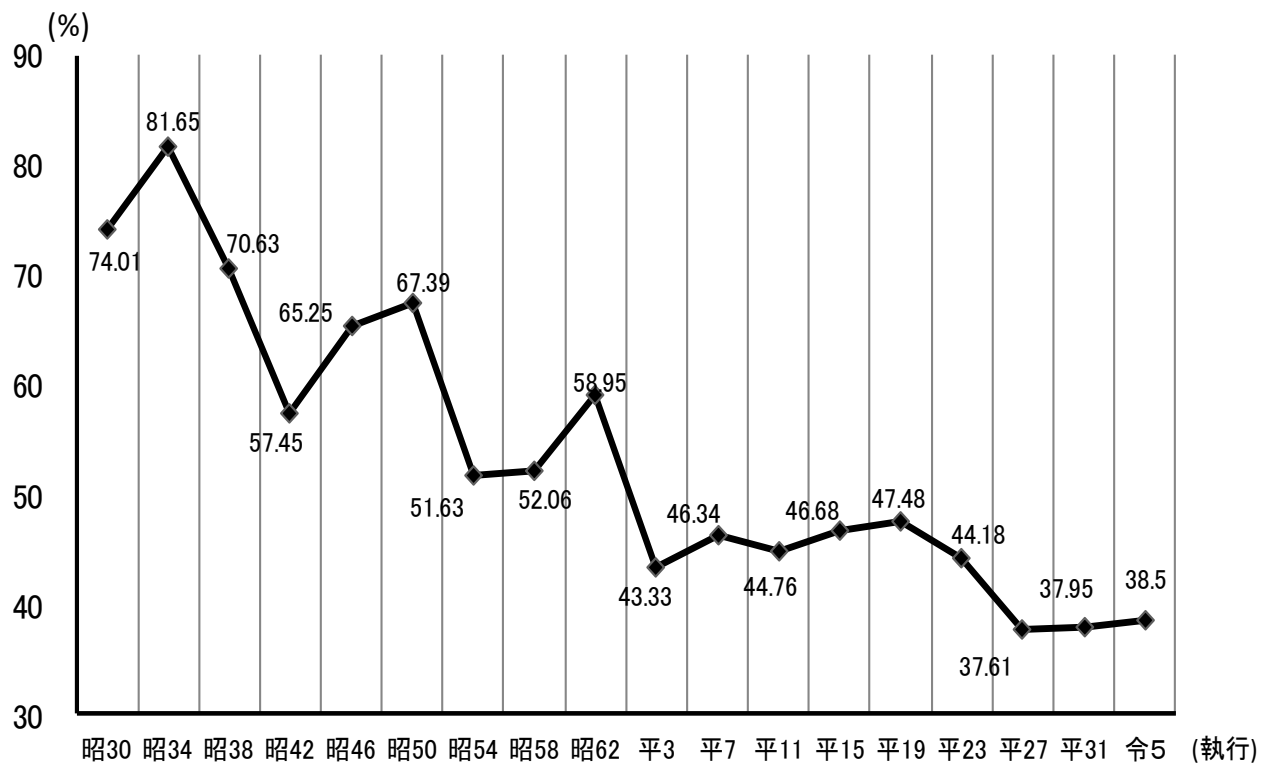
(執行)



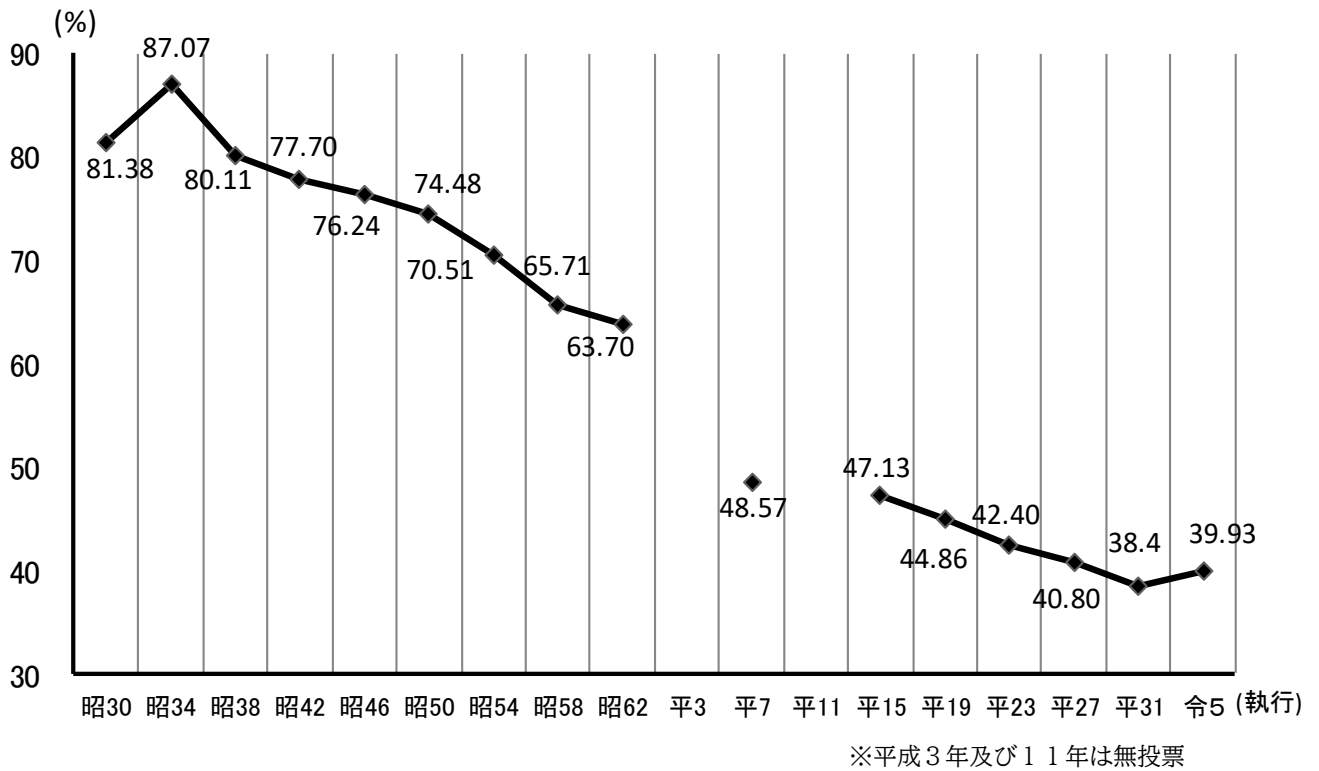
(3) 神奈川県知事選挙投票率の推移 (大和市)



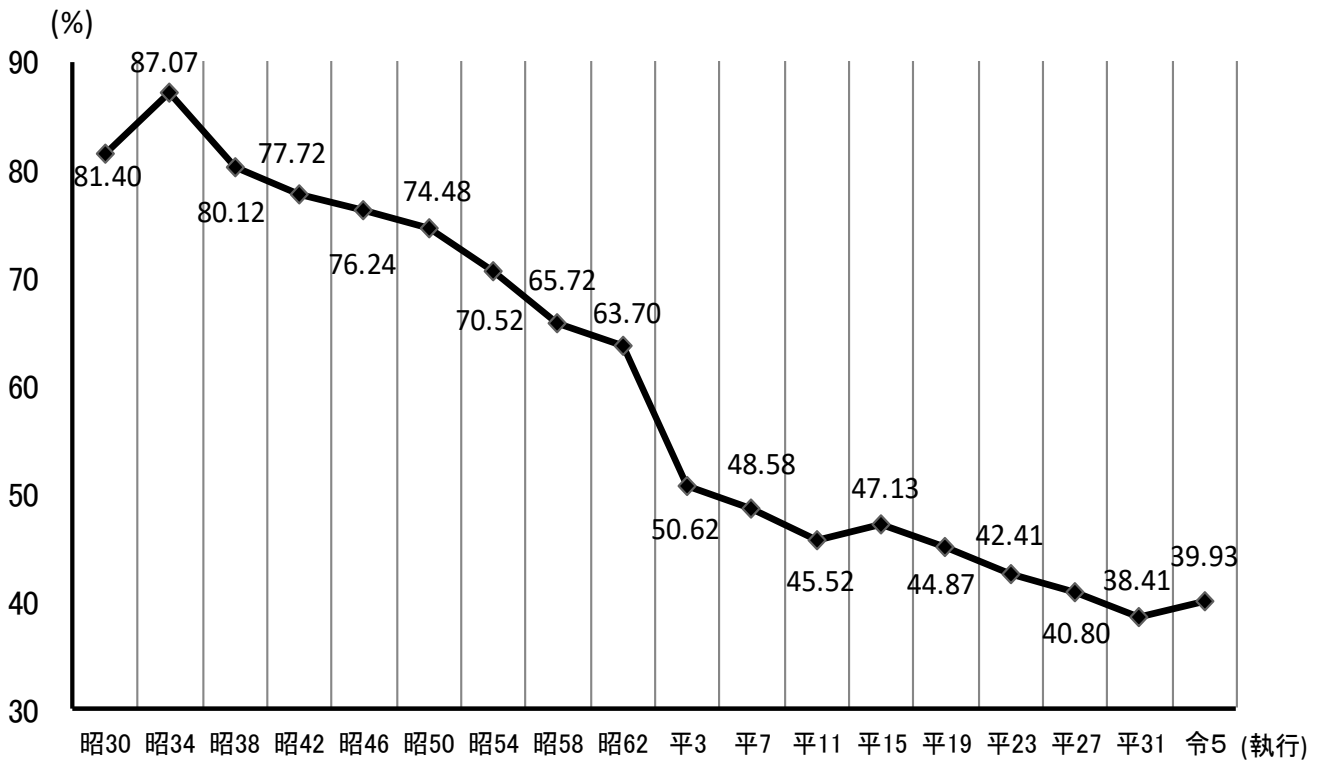
(4) 神奈川県議会議員選挙投票率の推移 (大和市)



### (5) 大和市長選挙投票率の推移



### (6) 大和市議会議員選挙投票率の推移



☆ みんなの一票大切に！ ☆



明るい選挙キャラクター 「選挙のめいすいくん」